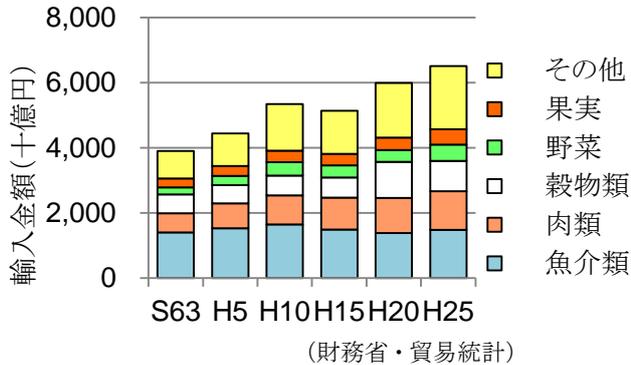


2 国際化に対応できる農業づくり

論点 I 安価な輸入農畜産物にどう対抗するのか【守り】

1. 現状

【図 1】 全国の食料品の輸入金額の推移



◆食料品の輸入金額は増加している。

【表 1】 米の内外価格差

	H23	H24	H25
県産 ハツシモ	266 円/kg	237 円/kg	193 円/kg
米国産 中粒種	117 円/kg ※		

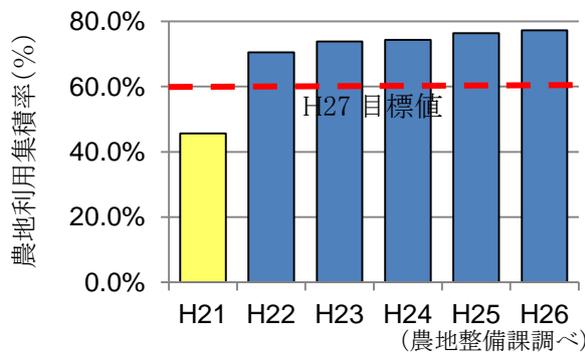
※H25. 3 農林水産物への影響試算

(農水省・米の相対取引価格)

◆内外価格差は縮小傾向にあるが、その幅は大きい。

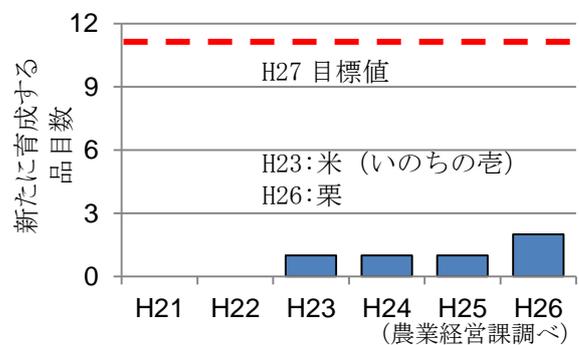
2. 現計画における取り組み状況

【図 2】 大区画ほ場整備等による利用集積率向上



◆営農効率の良い農地では、担い手への農地利用集積が進んだ。(達成率 215%)

【図 3】 生産額 1 億円の産地づくり



◆生産額 1 億円の産地づくりを進めてきたが、新たに育成できた品目数は 2 品目にとどまる。(達成率 18%)

3. 課題

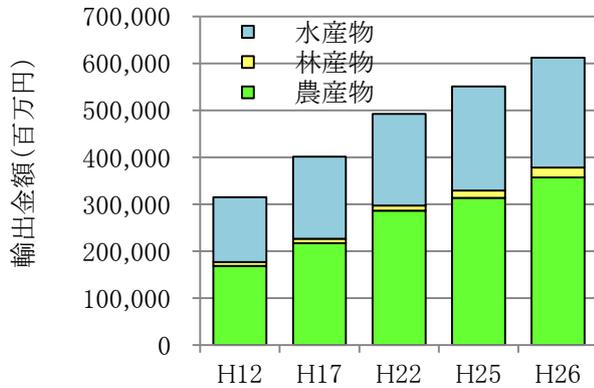
○内外価格差があっても安い輸入農畜産物ではなく、県産農畜産物を消費者に選んでもらえる品質面での差別化が必要。

- ・生産コストを低減させるにはどうしたらよいか。
- ・消費者が県産農産物に求めているのはどのようなことか。
- ・消費者に県農業を応援してもらうにはどうすればよいか。

論点Ⅱ 農業の活性化のため輸出にどう取り組むのか【攻め】

1. 現状

【図4】全国の農林水産物の輸出金額の推移



(農水省・農林水産物輸出入概況)

◆農林水産物の輸出金額は増加し、H26年は統計開始以来、最高値を記録。

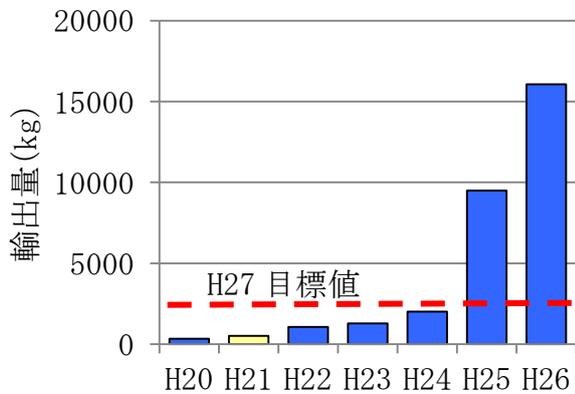
【図5】輸出促進ロゴマーク（農水省）



◆オールジャパンでの輸出拡大に向けて、農林水産物等輸出促進全国協議会に、コメ、牛肉など品目部会等を設置。

2. 現計画における取り組み状況

【図6】飛騨牛の輸出拡大



(農産物流通課調べ)

◆飛騨牛の輸出は、民間流通の参入により飛躍的に拡大。(達成率 783%)

【表2】輸出促進の取組実績

品目	輸出実績国	輸出促進の取組実績
飛騨牛	タイ、マカオ、フィリピン、シンガポール、香港、フランス	・H20年から輸出開始 ・フェアの実施、海外推奨店の認定等により販路を拡大 ・EU向け施設認定等を支援
柿	タイ、マレーシア、シンガポール、香港、フランス	・H16年から輸出開始 ・現地百貨店、スーパーなどでフェア実施
いちご	タイ、マレーシア	・H24年から輸出開始
鮎	タイ、マレーシア、シンガポール	・H25年から順次、試験輸送 ・フェアの実施
米	香港、シンガポール	・交流会等での試食、展示
花き	香港、シンガポール	・生産者団体と連携したニーズ調査の実施

◆品目ごとの取組段階に応じ、現地調査、輸出体制の構築などを支援。

3. 課題

○農畜水産物の輸出を農業者の所得向上、県農業の振興に繋げていくことが必要。

- ・どの国をターゲットとすればよいか
- ・輸出できる出荷体制やルートを構築するにはどうすればよいか
- ・輸出により農業者の意欲や所得を高めるにはどうすればよいか